

令和6年度（2024年度）上益城教育事務所 取組の重点 「確かな学力」の育成

子供たち誰一人取り残さない学びの保障

- (1) 学力向上検証改善サイクルの改善と学校総体とした取組の充実
 - ① 課題改善プランの見直し
 - ② 諸学力調査結果の全教員による速やかな分析の実施と課題の共有
 - ③ 課題解決を図る校内共通実践事項の設定と徹底
 - ④ 日々の授業改善につながる校内研修の工夫
例) 教員が実際に学力調査問題を解き、求められる力を確認する等
- (2) 国や県の学力調査結果の分析及び個別プリント等の効果的な活用
- (3) 中学生の外部検定試験へのチャレンジに向けた指導・支援の充実

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- (1) 子供が学びの主体となる教員一人一人の学習構想力及び授業力の向上
 - ① 子供の「わくわく」が連続し、「学びを生かそう」とする姿が生まれる単元デザインの工夫
 - ② 子供の「なぜ」「おそろく」が生まれる導入の工夫
 - ③ 子供の「やってみよう」「なるほど」「きっと」が生まれる展開の工夫
 - ④ 「分かった」と実感できる「まとめ」の充実と、「もっとやってみよう」につなげる「振り返り」の時間の確保
 - ⑤ 子供たちと単元等の「過程」や「ゴールの姿」を共有
例) 「熊本の学び」推進プラン及び「熊本の学び」取組事例集の活用
- (2) 指導（本時・単元終了）後の「省察」の習慣化
例) 「熊本の学び」授業実践の7つのチェックリストの活用
- (3) ICTの効果的な活用
例) 熊本県ICT活用推進研修パッケージ【ガイドブック集】の活用

学習習慣形成を促す取組の推進

- (1) 家庭学習の量と質の向上
例) 帰りの会での計画作成
- (2) 自ら学ぶ意欲を高めるための家庭との連携
例) 「家庭学習の手引き」の活用
学力の伸びや学校の取組の発信
意欲の向上につながる評価と好事例の紹介
- (3) 読書活動の充実と学校図書館等の計画的な活用
例) 一斉読書の日の設定、速音読の継続
学級文庫の充実、並行読書の推進